

2015年度 公認野球規則改正と規則適用上の解釈等について

規則改正全文及び規則適用上の解釈の取り扱いについては、全日本軟式野球連盟のホームページ (<http://jsbb.or.jp>)のニュース欄「2015年2月20日 2015年度野球規則改正について」に掲載されております。

閲覧されると共に、主要な点に関してお知らせいたしますので、チーム全員に周知していただくようお願いいたします。

改正7項目の内、項番1～4、及び7については省略します。(2は全軟連は従来どおり)

改正項番5・・・8.02(b)に【原注】を追加

「投手がいかなる異物でも、身体につけたり、所持を禁止する」という条文 8.02(b)に

「審判員が、異物と判断しなかった場合でも手、指または手首に何かをつけて投球することができない」という

【原注】が追加されましたが

全軟連は従来通りで、下記の規定とする。

「投手が手首にリストバンド、サポーター等を使用することを禁止する。なお、負傷で手首に包帯等を巻く必要があるときは、大会本部等の承認が必要である。」・・・**区内の試合では、「大会本部」を「球審」と置き換える。**

改正項番6・・・8.05(d)に【原注】を追加

「投手板に触れている投手が、走者のいない塁へ送球・送球のまねをしたら＝**ボーク**」という条文 8.05(d)に

「投手が走者のいない塁へ送球したり、送球するまねをした場合、審判員は、それが**必要なプレイかどうかを、走者がその塁に進もうとしたか、あるいはその意図が見られたかで判断する。**」という【原注】が追加されました。

走者二塁の時、二塁走者の動きによって、投手が三塁へ送球したり、送球のまねをした場合の具体例で見ていきます。

- 1) 二塁走者スタート→三塁へステップして送球しようとしたが、間に合わないと見て送球中止・・・ボーク
- 2) 投手板上から二塁へ偽投→二塁走者が戻らず三塁へスタート→投手板を踏んだまま三塁へ送球・・・**必要なプレイ**
- 3) 同上の状況で → 三塁は間に合わないとみて、三塁への送球を止める・・・ボーク
- 4) 同上 2)の状況で → 走者が途中から二塁へ戻った→かまわず三塁へ送球・・・**審判員が進塁行為があったとみれば必要なプレイ**
- 5) 二塁走者はほとんどリードしていないにも関わらず→投手が直接、三塁へ送球・・・ボーク、
- 6) 二塁走者がスタート切ったが→止まった→二塁へ偽投後→投手板上から三塁へ送球・・・ボーク
- 7) 二塁走者がスタート→三塁へ投げようとした→走者が途中で止まった
→三塁送球を止めて、マウンドを降り、二・三塁間に走者を追った・・・ボーク
- 8) 二塁走者がスタートしたので→三塁へ投げようとしたところ
→走者が途中で止まったが→かまわず投手板上から三塁へ送球・・・**審判員の判断だが、必要なプレイとはみなせずボークとなる**

※上記具体例の 5) 以外は

軸足をはずした場合や、偽投後に軸足が投手板からはずれた場合は問題なく、インプレイです。

5) は軸足をはずしていても遅延行為 8.05(h)・・・投手が不必要に試合を遅延させた場合・・・でボークとなります。

.....

リーグ戦（3部春季大会、1・2部夏季大会）、同点の場合の規定について

本年度より、制限時間を超えて同点の場合は、引き分けとします。

但し、時間内に9回を終わって同点の場合は、従来通り延長戦を行います。

以上

2015年3月20日

葛飾区軟式野球連盟審判部・審判技術委員会